

# いい汗キラリ!

## 名和マラソンフェスタ2011



▲ハーフの部が一斉にスタート!

「名和マラソンフェスタ2011」が5月15日(日)に、名和陸上競技場を発着点に開かれました。エントリーは1285人、県内はもとより群馬県、福岡県からも参加がありました。

当日は好天に恵まれ、参加者はマラソン(ハーフ・10キロ・5キロ)やジョギング、ウォーキングなどの部にわかれてそれぞれの競技にチャレンジしました。

今年の招待選手は、旭化成陸上部で唯一ニューイヤースタジアムの優勝経験者である小島忠幸さん。昨年現役引退されたものの、走られる姿は真剣そのもの。ハーフの部5連覇の川上大輔さん(米子市)に続きゴールテープを切られました。

また310人のスタッフが



交通整理や給水所で選手をサポートし、沿道からは盛んに声援が送られました。

大山町からは、ハーフ高校生以上35歳以下の部で住本浩樹さんが3位入賞、5キロ高校生以上の部で金川徹さんが6位入賞、同中学生以下の部で古儀瞳衣さんが優勝されるなど、健闘されました。



▲「がんばれ、東北」参加者が熱い思いを背中であピール

完走後、お互いの健闘をたたえ合いました

◀招待選手の小島さんのラストパートに拍手

